

ブレinstoering型の話し合いにおける「書く」という行為の問題点

工藤 嘉名子・大津 友美・熊田 道子（東京外国語大学）

1. はじめに

ブレinstoering

あるテーマや議題について参加者が自由にアイデアを出し合い、新たな発想や視点を発見していくタイプの話し合い

★出てきたアイデアを付箋紙やホワイトボードなどに書き留めながら話し合いを進めるのが効果的（新井・坂倉2013）

問題

「書く」という行為が必ずしも生産的な話し合いや教師が期待する学習成果に結びつかない場合もある。

cf. 工藤・大津（2018）… 問題解決型の話し合いの分析

★「話し合いよりも書くことを優先させる」という行動を特定

ブレinstoeringにおいても、「書く」ことが話し合いの妨げでは？

研究の目的

ブレinstoering型の話し合いの成果発表において内容的に不十分だったグループの話し合いを対象に、「書く」という行為に着目して学習者間のやりとりを分析し、「書く」という行為が話し合いの成果に及ぼす影響や問題点を明らかにする。

2. データ

話し合いの音声録音
+画用紙の回収

2.1 対象者

中級後半レベルの総合日本語科目の履修生17名
→ 4~5名のグループ4組に分かれて話し合いを実施

2.2 話し合い活動の概要

本研究で対象とする話し合い活動

発表タスク「地域の名所を紹介する」の振り返りの話し合い
● 問い 「大学周辺地域の特徴や魅力は何か？」

タスク「地域の名所を紹介する」の発表

●大学の近くや自分が住んでいる地域の名所を1つ選び、その場所の歴史や地域との関わりについて各自、発表

●例 多磨霊園、井の頭公園、大國魂神社、国立天文台 など

ブレinstoering（10分）★ 研究対象

●大学周辺地域の特徴や魅力について話し合う
※ 出てきた言葉やアイデアを画用紙に書く



成果発表の準備のための話し合い（5分）

●地域の魅力を伝える1分スピーチの準備

成果発表（各グループ1分程度）

●自国の家族や友人に大学のある地域の魅力を1分で説明

3. 分析方法

分析対象

ブレinstoeringの際に画用紙にたくさん書いていたが、成果発表で到達目標として期待する観点を欠いている、または不十分であると判断された3グループ（G1~G3）

観 点 の 例

- 公園や霊園など自然豊かな場所が多い。
- 古い歴史を持つ寺や神社が多い。
- 家族や友人と楽しめるイベントが多い。 など

分析方法

ブレinstoeringの際の音声の文字化資料と画用紙とを突き合わせ、学習者が「書く」という作業を行っていると思われる発話箇所のやりとりの特徴を分析

4. 分析結果

それぞれ複数回、観察

問題行動

- ①「何を」よりも「どう」書くかに注意が向いている。
- ② 書きやすい言葉をアイデアとして採用する。
- ③ 発想を広げるヒントとなり得る発話を逃す。

4.1 「何を」よりも「どう」書くかに注力

●「どう」書くかに時間をかけ、話し合いが停滞

O1 1A: あ ●●●(大学名頭文字)のこの色は
O2 な どんない色でしたか これ い色。
O3 1B: ピンク: 黄色:
O4 1C: [ピンク ピ
O5 1A: ピンク?[全部ピンク?
O6 1D: [え
O7 1A: [全部ピンクじゃなくて
O8 1B: [うん ピンク: 黄色: 緑:
O9 1C: うん
O10 1A: ピンク?
O11 1C: あ: 間違い。
O12 1D: 何だって?
O13 ((ポーズ)) ((スマホで検索する))
O14 1C: 黄色も、あ こめん、これもね
O15 ピンク: 黄色: 緑: 青かな?

G1

: = 直前の音の延伸
[= 発話の重なり

やりとり1

4.2 書きやすい言葉を採用

●書きやすいかどうかという観点から言葉を選択

O1 2A: で 何を書く?
O2 2B: うん。
O3 2A: 何。
O4 2B: 公園?
O5 2A: な 何の?
O6 2C: 公園 公園 書きやすい。
O7 2B: 書きやすいとかは [自然。
O8 2C: [たぶん公園。

G2

やりとり2

4.3 発想のヒントとなり得る発話を逃す

●書くことに注意が向き発想を広げる機会を逃す

O1 3A: 共通点: ある? でしょうか?
O2 ((ポーズ))
O3 3B: あ コミュニ[ティ。
O4 3A: [神社?
O5 3A: 神社、漢字ができない。((笑い)) 神社、神社。
O6 3D: 漢字 それは神社。
O7 3B: 漢字本当に((黙って書く))一番苦手こと
O8 日本語で、((笑い))
O9 3A: うん 現代 場所((黙って書く))
O10 ((ポーズ))
O11 3D: 面白い歴史もありますね。
O12 3B: うーん。
O13 ((ポーズ))
O14 3C: 天文台?

G3

「歴史」という観点から発想を広げるヒントとなり得る発言

やりとり3

5. 考察と今後の課題

★学習者にとっての「書く」という行為の意味:

「話し合いの内容を記録すること」ではなく、「誰かに見せるための成果物を作ること」



改善策の効果を検証

改善策

「ブレinstoering」と「話し合いの成果をまとめる」という作業を切り離す。→ 話し合いに集中

①ブレinstoeringメモ程度で話し合いに集中

②話し合いの内容を整理する画用紙などに成果をまとめる

